

環境構築について

本環境を構築するにあたってソースコードが Github 上にある。以下のリンクからソースコードを入手した上で続きの説明を見てほしい。

<https://github.com/thedekopin/Analytics system/>

Docker を利用した環境構築方法

こちらの方法では PC に対して、Docker と docker-compose がインストールされていることが前提条件となっている。Docker の詳細については、Docker の公式ページを参照してほしい。

<https://www.docker.com/>

docker-compose の詳細については、docker-compose の公式ページを参照してほしい。 <http://docs.docker.jp/compose/toc.html>

Github 上からダウンロードしたソースコードの以下のディレクトリ移動する。
`cd /Analytics system/main/centos7/`

演習環境とログ収集環境では、秘密鍵と公開鍵が必要である為、新しく作成するか、もしくは自分で持っている場合はその鍵を以下に鍵を配置する。その後以下のコマンドを実行する。

```
collect server/key/ logger server/key/
```

鍵の配置が完了したら以下の docker-compose コマンドを実行する。 ☒
`docker-compose up -d`

このコマンドを実行すると、image ファイルの build が始まり完了したのち、ssh ログインが可能な演習用環境とログ収集環境が構築出来る。ログを収集す

る際は、ログ収集環境にログインした状態で、まず初めに収集を行う為のサーバ状況確認履歴を定義して欲しい。次に `lsyncd` コマンドを実行します。コマンドを以下に示す。

```
systemctl start lsyncd
```

さらに `crontab` に以下の内容を追記する。

```
PATH=/usr/local/sbin:/usr/local/bin:/usr/sbin:/usr/bin:/sbin:/bin
SHELL=/bin/bash /1 * * * * python3 /root/log collect/main/fabfile2.py
>>/root/fabfile2.log /1 * * * * python3 /root/log collect/main/log backup.py
>>/root/log backup.log
```

上記を `crontab` に追加することでログ収集を 1 分毎に開始する。可視化環境を利用して下記コマンドを実行する。

```
python3 /home/web2/routing.py
```

ブラウザで以下の URL で可視化環境にアクセスすることができれば、ログ収集環境が利用される。

ブラウザで `http://IP アドレス:5001/`